主の祈り　(93-5A)

天にます　われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ
国と　ちからと　さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり　　アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は，主なる神と出会うイエス･キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し，この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は，希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。

日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854　石巻市大街道北２丁目１２－３
電話／FAX：0225-22-4090
ホームページ：http://tohoku.uccj.jp/i-eikou
メール：i-eikou@tohoku.uccj.jp
振替口座：02280-8-2810
教会創立：1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10：30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前 7：30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後 7：30

2024年度標語　『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
◎ 平和を創り出すために働きましょう。

№2464　四旬節第二主日　2025年3月16日

礼拝式順序

午前10時30分

受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。

前　奏		
招きの言葉	［30］ヨエル書第2章12～13節	司会者
讃　美　歌	34	一　同
祈　り		司会者
聖　書	ローマの信徒への手紙5章8節 （新約聖書279ページ）	
讃　美　歌	306（1-3節）	一　同
お　話	「神は愛を」 川上直哉　牧師	
讃　美　歌	306（4-5節）	一　同
献　金		一　同
報　告		司会者
讃　美　歌	89	一　同
祝福の祈り		
後　奏		

＊当教会では 着席のまま礼拝を守っています。
＊旧約聖書は前半（P.1502まで）、新約聖書はその後ろです。
＊献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞

本日、礼拝後に「第12回目」の役員会が行われます。
今年度最後の役員会です。一年間、教会が支えられました。
役員各位のご労に、心からの敬意と感謝を表します。

∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞

☆「役員会」　3月16日（日）11:40頃～　オンライン併用
☆「キリシタン」読書会　3月19日（水）14:00～　十三浜にて
☆「御言葉と祈りの時」　3月19日（水）19:30～　オンライン併用

∞∞∞ 次週の予告（3/23）∞∞∞

☆ 四旬節第三主日礼拝（お話：川上直哉 牧師）

［聖　書］	ルカによる福音書9章62節
［お　話］	「手を鋤にかけてから」
［讃美歌］	34　303　90　［招きの言葉］31
受　付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
奏　楽	

公告　2025年度教会総会を、4月13日（日）礼拝後に、
日本基督教団石巻栄光教会礼拝堂で行います。

∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞

✤今後の予定は以下の通りです

- **3月5日（水）～4月19日　四旬節（レント）**
- **3月20日（木）日本基督教団東北教区伝道研修会**
  （参加申し込みは3月17日締切となりました）
- **4月12日（土）日本基督教団東北教区宮城北地区総会**
- **4月20日（日）　イースター**

《 先週の集会統計 》

聖日礼拝	12人	み言葉と祈りの会	4人
早朝礼拝	2人	聖餐式	5人

月定献金		特別献金
小杉澄子（3月）		小杉澄子 （聖餐式感謝・会堂修理・実紀子召天感謝）
席上献金	¥13,810	

週報別冊

2025年3月16日号

1．教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団・東北教区関係】

- **「地区総会のご案内」（日本基督教団東北教区宮城北地区）**：4月12日（土）午後1時から日本基督教団いずみ愛泉教会にて地区総会が行われることの連絡を頂きました。

- **「教誨師研修会・教区報告会のご案内」（日本基督教団教誨師会）**：7月14日（月）～15日（火）日本基督教団南軽井沢教会にて行われる日本基督教団の教誨師の研修会の案内が届きました。

- **「2024年能登半島地震教会等再建支援募金のお願い」（224年能登半島地震教会等再建支援委員会）**：「現在用いることが出来る献金額は・・・合計1億3千万円ですが、今回の地震の特徴である地盤の隆起と液状化対策を支援するためには、なお7千万円の不足が生じています」ということで、2025年から「目標額7千万円」の募金を開始することのお知らせを頂きました。

- **「震災ニュース」（日本基督教団兵庫教区）**：「兵庫県南部大地震記念の日」追悼礼拝の様子が報告されています。

- **「学報」（東京神学大学）**：「日本における伝道の根本課題～戦時下の『日本的キリスト教』を読んで考えたこと」（東京基督教大学山口陽一教授）等が掲載されています。

【その他教会・団体関係】

- **「EIWAN」（福島移住女性支援ネットワーク）**：「ふくしま青年海外協力隊の会」との共催プログラムとなった「からふるカフェ」の報告（日本バプテスト連盟 福島主のあしあと教会 大島博幸牧師）等が掲載されています。

2．牧師動静

3月10日（月）

朝から福島市へ行き、新しいYMCA・ワイズメンズクラブ設立の会議に出席し、午後に石巻に戻り、2026年6月に行われる全国大会のための市長表敬訪問などをしました。

3月11日（火）

午前中「3.11追悼礼拝」の準備をし、午後にその司式を担当し、夜にワイズメンズクラブの例会に出席しました。

3月12日（水）

日中、「3.11」でお越しの皆様の接遇をし、夜、祈祷会を主宰しました。

3月13日（木）

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式を行い、午後、休暇を頂きました。

3月14日（金）

午前中、教会で執務し、午後、休暇を頂きました。

3月15日（土）

午前中、エマオで「侍」読書会を主宰し、午後、仙台白百合女子大学カトリック研究所の研究会に出席しました。

- 3月11日に石巻栄光教会で行われた「追悼礼拝」には、神戸や北海道、宇都宮、仙台から30名ほどの来場者と、全国からオンラインで50件の個人・団体の参加がありました。豊かな祈りに支えられ、１５年目の被災後の日常がまた進められます。いよいよ、神さまの導きと守りを求めて、お祈りに励んでいます。

３月１７日（月）
休暇を頂きます。

３月１８日（火）
午前中、仙台の青葉城資料館を訪問して会議を行い、午後、エマオで東北ヘルプの事務を執り、夜、反貧困みやぎネットワークの役員会に出席します。

３月１９日（水）
午前中、休暇を頂き、午後、十三浜で「キリシタン」読書会を主宰し、夜、祈祷会を主宰します。

３月２０日（木）
終日、エマオで教区の伝道研修会に出席し、夜、東京からの来客を頂いて接遇しています。

３月２１日（金）
教会で執務します。

３月２２日（土）
午前中、午後のコンサートの準備のお手伝いをし、午後、サン・ファン館に仙台からのお客様を引率し、夕方から、富山からのお客様を教会で接遇して被災地の案内をします。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。日程を調整して、ぜひお目にかかりたく存じます。

２０２５年４月２０日は、私たちプロテスタント諸派でも、ローマ・カトリック教会でも、そして各国のハリストス正教会でも、「復活日（イースター）」となります。

ウクライナから石巻・仙台に避難して来られた方々が、霊的に安全な復活日の礼拝に与れますようにと、仙台白百合女子大学の宮崎正美教授が尽力し、石巻栄光教会で毎年、ウクライナの伝統に沿った復活日礼拝を執り行ってくださっています。

今年も、宮崎先生は、「祈り」の企画をお立てになり、川上牧師宛、以下のようにメールをくださいました。感謝して、ご紹介します：

・・・企画される私たちの「復活祭の祈り」は、

- すべての人間を「神の像」として、可視的に肉体をもって不可視の神の栄光を現すようにお創りになった神に信をおき
- 罪によって傷ついたこの世界・宇宙と人間自身とを、回復させようと、十字架の死から復活されたキリストと一つとなることを目指して

祈る催事となります。

石巻栄光教会は、ウクライナ侵攻の丁度２ヶ月後の正教会暦の復活祭の日（2022 年 4 月 24 日）から、毎年、礼拝堂をお貸しくださいました。「有志による祈り」とはいえ、（イコン、乳香、聖水などを用いて）正教会の伝統に沿った祈りの場として使わせていただきました。それは、正教会の伝統の中で生きてきた避難者の方々にとっては、心からの祈りを祈って、母国の人々と心を一つにする祈りでした。

石巻栄光教会の皆様は、支援を必要とする避難者の方々の祈りを、非常に強力にサポートして下さったことになります。力を失いかけた「助けて下さい」との小さな祈りの声を、大きくして下さって、キリストの復活に信を置くように心を支えて下さいました。・・・